

新潟県

# 公民館月報 5

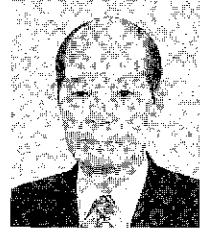
平成10年5月号 通巻第543号



表紙 はまなすの丘  
(中条町中央公民館)

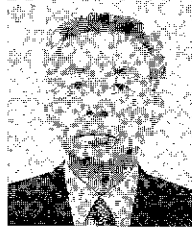
特集 新任職員のための公民館ガイド

視 点 私の課題  
ひろば 若者の学びの場  
実践記録 津南いなが大学 津南町公民館  
サークル交流 柏崎子育てサークル交流会 (柏崎市)  
小国町中央ダンス会 (小国町)  
素顔拜見 谷口純子さん (糸魚川市)  
清野哲弥さん (三川村)



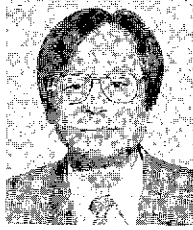
前副会長  
神田 武

1、定期異動、新発田市水道局局長  
2、一年の短い期間でしたが、公民館、市民文化会館の各種事業を通して、多くの方々と出会



前副会長  
吉田 恵明

1、定期異動、長岡市福祉保健部次長兼健康課長  
2、一年の短い期間でしたが、多くの素晴らしい方々との出会



前副会長  
河端 守明

1、定期異動、上越地方広域事務組合総務課長  
2、二年間公民館に在職し、多くの人達と交流をもてたこと。

いと貴重な体験をし、心の豊かさを実感することができました。3、生涯学習社会に向かって、住民の公民館に寄せる期待はますます大きくなっていると思います。この期待に応えるためには、職員が常に創意工夫して、やる気を持つことではないかと思えます。県公民館連合会の御発展をお祈りいたします。

◆◆◆  
いがあったこと。時代の大きなうねりの中で、当市の中央公民館組織の改編があったこと。3、時代が変わろうとも、公民館の目的理念は何時の時代でも通用するものであります。人と人との関わりが希薄になってきている今こそ公民館活動を再認識し、住民を主体とした粘り強い取組みをご期待いたします。

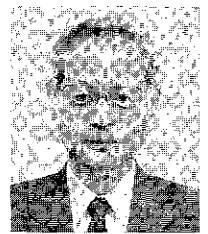
◆◆◆  
また、地域活動の拠点としてこどもから大人まで利用できる多機能な分館が完成したこと。3、変化する社会の中で心のゆとりである生涯学習がますます重要な課題となる。これを進める公民館のさらなる飛躍を期待するとともに、県公民館連合会の上より一層の発展をお祈りいたします。

## 今春の人事異動に伴う当会役員 退任のことば

『県公連の一層のご発展を祈念』

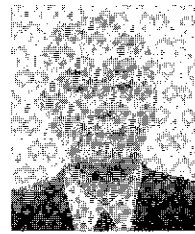
今春も人事異動により七名の役員の方々がご退任されることとなりました。ご退任に当たって左記の項目によりおことばをいただきました。  
1. 異動内容・異動先等  
2. 在任中、印象に残った事業、事柄等  
3. 退任に当たって贈ることば

ご多忙の中、ご寄稿いただきましてご退任の方々の、第二の人生、または新しい所属職種での活躍、ご発展を祈念いたします。ありがとうございました。



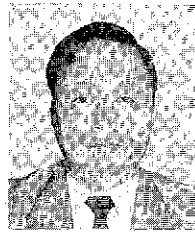
前監事  
近藤 貞雄

1、定年退職、役所生活での貴重な経験を生かして、第二の人生を送りたい。  
2、公民館作品展



前評議員  
田中 武夫

1、定期異動、燕市健康福祉課課長・福祉事務所長  
2、①登校拒否児童生徒適応指導教室「エンゼルルーム」の開



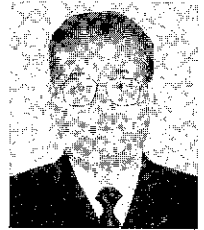
前評議員  
豊岡 毅憲

1、定期異動、三条市会計課課長  
2、公民館とは、生涯学習とは何かと考えているうちに過ぎてしまった二年間でしたが、三条

公民館の教室と、公民館を利用して創作活動をしているグループ等の成果を発表する作品展を開催したこと。  
この作品展をとおして、広く市民から公民館活動を理解していただいたこと。  
3、新たな出会い、新鮮な感動を与えられる事業展開をしてほしい。

◆◆◆  
設、②生涯学習推進基本構想の策定、③「市民ギャラリーつばめ」の開館、④新潟県レクリエーション大会の開催、⑤全国生涯学習フェスティバルの見本市に出展、⑥児童研修館「こどもの森」の開館。  
3、自分自身が楽しくなければ良い仕事はできません。皆様の一層のご活躍を期待致します。

◆◆◆  
の文化活動を支える素晴らしい方々との出会い、そして三条の歴史文化に触れることが出来たのも、貴重な体験と感謝している昨今です。  
3、公民館に新しい風を、常に地域の声を聞きながら、この言葉を大切に、魅力ある公民館活動が展開されることを期待します。



前評議員  
矢口 辰幸

1、定期異動、十日町地域広域事務組合、消防長、事務局局長。  
2、多くの素晴らしい仲間と、多くの人との出会いで、あつと

いう間の一年であったように思います。十日町公民館五十周年記念の数々の行事と式典を行うことができたことと、十日町らしい生涯学習体制はどうあるべきか、一年かけて議論し答中を行ったこと。  
2、「和して同せず」仲間づくりと明るく活気のある職場環境づくりを期待したい。

### 第39回 関東申信越静公民館研究大会

#### 第6分科会発表概要

◆本県担当分科会  
第6分科会「地域づくりと公民館」の発表

○(仮題)

「創作民話劇で村づくり」に取  
り組む赤泊村公民館の実践」

- ・発表者 赤泊村公民館長 武部治雄
- ・司会者 両津市公民館長 伊藤博
- ・助言者 新潟県公民館連合会顧問 上村捨二郎

## 視 点

新潟市の 坂井輪公民館に謡曲の練習に通いはじめてから四年目になる。指導の先生は無

論のこと、仲間の先輩諸氏に、口移しに教えられて、ようやくのこと、トポトポと後ろからついていっている。

## 私 の 課 題

田 中 正 男

道からは逃げられぬ。い。とうとう、今年は公民館利用者団体協議会の幹事になってしまった。会議に出てみるとみなさんの数の多いこ

と、元気の良いこと、平均年齢さえ気にしななければ、これはすごいエネルギーの固まりだなど感心した。ところで、わたしの本務は新潟県社会教育

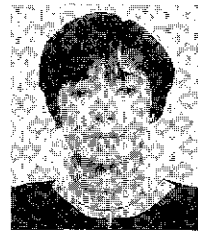
と、提出をしたが、果たして先ほどのように市町村の隅々で行われているあのエネルギーをまとめきれているのか、我ながらはなはだ心許なかった。

生涯学習花盛りの今、人間教育の土台になる家庭と地域の教育力が衰退の一途をたどりつつある現状とともに、取り組むべき課題の多いことを痛感している。

(社団法人新潟県社会教育協会 常務理事・事務局長)

## 若者の学びの場

朝 日 由 香



長岡短期大学生  
期大学生  
涯学習センターを  
拠点に'96  
'97年の

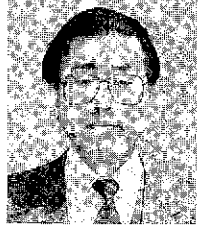
二年間実施された、文部省委嘱事業「青年男女の共同参画セミナー」において、その事業の一つである学習プログラム開発実行委員会に加わる機会を得ました。

「女性学嫌いの若者と地域性の高いこ長岡で、『ジエnder視点の獲得』をねらうプログラム開発が可能であろうか？」本来なら、学習者のニーズや実態把握から始めるべきところを、時間の制約のため、そのニーズも把握せずにスタートしました。アドバイザーの指導の下、女性センターや公民館の協力も得て、プログラム開発だけにとどまらず、実施も試みました。その結果、学習者の生の声も聞け、事業課題の糸口を掴みきつかけもできたのです。

## ひ る ば

「最近の若者は、ホンネと建前を使い分け、面倒な関わりを避けたり、責任も負いたがらない。他人との関わりで傷つくのを恐れている。など、人間関係の希薄さを耳にします。確かに公民館利用や種々行事への参加も減っています。しかし、少子・高齢化、過疎化等の深刻な地域事情の中、若者の活動・学びの場を、今以上に共に考え作り上げていく必要があるのではないのでしょうか。年代を越え、互いの価値感の相違を知る楽しみを見出し、この場作りに関わっていきたくと考えています。

(長岡市中央公民館 運営審議会委員)



はじめに

陽春四月は、初めて公民館に配置換えされた人、全くの新採用の人等、それぞれの思いで着任され、すでに業務に当たっておられることと思います。そこで、新しく公民館職員になられた方々のために、今回もQ&A形式で基本的な事柄について紹介することとしました。

現場経験が長く、豊富な実践事例をお持ちで、しかも現場を預る現職館長としてリーダーシップを発揮されておられる北村弘文様に執筆をお願いしました。



北村弘文

公民館ガイド

見附市中央公民館長

公民館窓口は出会いの場

Q1、今まで首長部局に勤務していた公民館職員が土日や夜も忙しそうに仕事をしているのを観ていましたが、どうも一般行政事務職員とは違う雰囲気を感じていました。どうしてですか？

A1、確かに違います。一般的に言って行政事務は権限に基づいて行われる業務が主であるため、行政窓口職員は「願いを聞いてやるんだ」といった錯覚に陥りがちです。市民にとっては市役所の窓口に来るだけでも気が重いの、職員が市民から付託されて行っている業務であることを忘れ、時に居丈高な態度で接してしまおうというのは大きな考え違いをしているのです。

行政窓口と市民との接点が、例えば住民票の交付申請であったり、納税相談であったりと、極めて限定された用件であることにも職員の考え違いを引き起こす一因があるかもしれません。目の前の市民が、どんな歴史をもち、どんな夢や希望をもっているかなどは、窓口事務の処理ではとりあえず不要なことなのです。それでも、目の前の市民が自分の父母や兄弟で

あったら、と考えるだけで対応はかなり違ってくるはず。ところが、公民館の市民との接点は限られた点ではありませぬ。例えば、公民館の施設利用申請で窓口に来た人がたとえ初対面でも、公民館の主催する講座や地域活動など、公民館の活動場面で必ずといっていい程再会し一緒に活動する機会に出会います。そんな時、お互いの歴史や現在そして将来への夢や期待など全人格として相互に認め合い、尊重し合う機会にも恵まれます。そこから慈しみや共感が生まれ、相互の信頼関係もまた生まれるのです。

汗を厭わず真心をもって

Q2、相互の信頼関係が基本だということですが、どうしたらそのような関係を築くことができるのでしょうか？

A2、まず、率先して汗をかくことです。公民館の業務は、事務関係の業務から施設の維持管理に係わる業務あるいは経理関係の事務など、雑多にしかも時と所を問わず数多くあります。

です。頭をかかえ思案することも、体を動かして資材を運搬して文化祭の準備をすることも、はたまた公民館敷地内の除雪作業に係わることもあります。市民はそうした公民館職員のえり好みをしないうひたむきな取組を常に注視しています。そうした姿勢に市民は共感し信頼をしてくれるのだと思います。

「公民館に就任した年、文化祭の準備が夜遅くもまだ終わらず、役員の人達が帰った後一人で作業をしていると、夜の12時頃、突然玄関の戸が開いて一人の中年男性が入ってきて『おれも手伝いするゾ』と言って来てね。ところが、その頃は俺自身、地元の人達との面識はそんなに深くも広くもない。その人も前に会ったような気はするけど、どこの誰かもわからない。結局明け方まで手伝ってくれたんだ。

この人は地元消防団の副分団長だったんだが、後になって、最初の出会ひの時のことが話題になってね。消防団の反省会の帰り道、公民館の明りが気になって覗いてみたら黙々と仕事をしているあんたがいた。こんな遅くまでやっているなんて要

公民館事業のポイント

Q3、市民との信頼関係が大切だということばかりですが、それでは公民館は具体的にどんな仕事をどんな目標をもってやってゆく所なんですか？

A3、公民館は地域の生活課題をとらえた学習を企画運営し、地域課題解決への実践を通じ自治能力を高めてゆこうとする市民の取組を支援する施設です。現代は、地域の問題にも世界の動向が反映する時代ですから、日常の身近な問題だけでなく、人間存在の根本に係わる問題や世界的視野での問題解決力が必ずや必要です。自治の基である主

領の悪い奴だとは思いますが、もう、どういふ訳かヨシッ！手伝ってやろうという気になったね。ひたむきさに心が動いたんだな」と聞いたその時に、仕事にも人にも真心をもって向き合うことの大切さを教えられたような気がするよ。」

一人ひとりと真心をもって向き合う真摯さが地域の中で共感を呼ぶ。職員は地域の人達との信頼関係の中にあつて初めて、地域の生活者の視線を地域の人たちと共有することもできるのです。

体的判断力はこうした視点をへ

# 特 集 新任職員のための Q&A

とはないだろうかと考えていました。

ところでMさんの自宅近くに  
ある公民館は農村地帯をサービ  
スエリアとする公民館ですが、  
沢沿いの用水路に数年前から  
が多く見られるようになったと  
いう情報が寄せられていまし  
た。公民館主事は公民館が好き  
でたまらないというベテランの  
Y主事。従来から事業の企画や  
地区内の団体や個人を巻き込ん  
での事業展開のうまさには定評  
があった彼ですが、この時はM  
さんに話をもちかけました。

「子供の心を豊かにと言っ  
ど、そのためには生活上の体験  
や自然の中での体験が、子供達  
にとっていかに大切かを大人が  
認識することが必要なんじゃな  
いだらうか? ファミコンに熱  
中して疑似体験だけがすべてだ  
と人間の感受性は摩耗してしま  
うんじゃないかな?」

こんなY主事の話から意気投  
合した二人は、親子を対象とし  
た虫の観察会を開催することに  
しました。観察会には市街地か  
らも大勢の親子が集まり、幻想  
的な虫の乱舞に見入っていたそ  
うです。

Mさんは自宅で燃糸業を営む  
傍ら長年レクリエーション指導  
をやってきた人でした。子供た  
ちも成人し、今度は地域の子供  
達の育成に何か自分ができるこ

た。でも話を進めるうちに、「な  
ぜ虫がこの沢に多く帰ってきた  
のだろうか?」、また「虫が生息  
しやすい自然環境は人間にとっ  
てはどんなものなんだらう  
か?」、こんなこともこの事業を  
通じて子供達も大人も一緒に考  
えようということになったので  
す。参加者と共に虫の生態に詳  
しい人から話を聞いたり、虫の  
繁殖や環境整備に力を入れてい  
る人を越路町に訪ねたりして観  
察会を開催したので。

この事業にはY主事の提案  
で、地区内の小学校にも共同開  
催を呼びかけました。その結果、  
学校に「虫クラブ」が生まれ、  
今も虫の生態や環境保全につい  
て学習や調査活動を継続してい  
るそうです。また、地区内の各  
家庭でも虫の観察や調査から地  
域の自然環境、延いては地球環  
境の問題が親子の話題になって  
いる様子が彷彿としてきます。

このように公民館の主催事業  
では職員の問題意識をベース  
に、地域の人材や自然、産業な  
どの素材をどのように組み合わせ  
せてゆくか、またその組合せを  
どのような方法で展開してゆく  
かは、事業を企画運営してゆく  
上で重要なポイントです。

あなたがこれから公民館事業  
を企画運営するに当たっては、  
まず前任者達が手がけた事業

ファイルをじっくり検討してみ  
ることが有用です。その際次の  
点に留意してください。  
①地域の課題や生活上の課題を  
何に見い出したか。  
②それを基に学習課題をどのよ  
うに設定し、どのような内容と  
方法の事業として展開したか。  
③事業実施の成果は、事業内容  
方法は適切であったか。

公民館の仕事は主催事業のほ  
かにもグループやサークルなど  
社会教育団体の自主的な活動を  
進める上での助言や援助があり  
ますし、様々な学習情報を収集  
整理して市民の学習相談や情報  
の提供などを行うことも大切な  
仕事です。そのためには、公民  
館は行政や研究機関、学校ある  
いは産業団体などとの連携に心  
がけ、情報の収集に意を払うと  
ともに、共同で事業を展開する  
ことなども必要なことです。

## 公民館に自信と誇りを

最後に公民館の歴史について  
触れたいと思います。公民館は  
日本独自の施設で半世紀余。敗  
戦の焦土の中で日本を民主国家  
として再建しようとした文部官  
僚寺中作雄さんの構想によって  
誕生しました。食料事情もまま  
ならない時代です。日本再建の  
理想に多くの人々が共鳴し、公  
民館はスタートしたのです。当

時公民館には大学教授や中央官  
僚の職を投げ打ってまでもこの  
仕事に生涯を捧げようという人  
達も集ったと聞きます。その後  
の公民館の歴史は正に激動の日  
本の戦後史そのものです。

高度経済成長の時代に市民の  
関心は企業へ向い、地域は崩壊  
したと言われました。公民館受  
難の時代でした。ところがバブ  
ル崩壊とともに私達は本当の豊  
かさについて考え直す機会を与  
えられました。そして、家庭や  
地域の重要性が再評価されつつ  
あります。それは、公民館が再  
び重要な地域施設として期待さ  
れることでもあります。

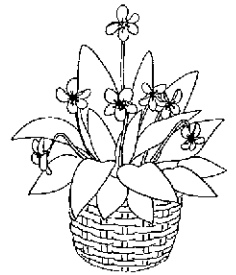
公民館は地域に根をおろしな  
がら、地域の人々を地域を、そ  
して日本を支えてきたのです。  
私達公民館職員は、今日まで時  
代の渦に翻弄されながらも積み  
重ねられてきた先輩の地道な取  
組に誇りと自信を見出すべきな  
のです。

皆さんの身近にも草創期の公  
民館に関係した人達がいます。  
です。その人達を訪ねてみてく  
ださい。当時の公民館の熱気と  
精神が伝わってくるでしょう。  
時代の状況は違つても、地域再  
生、日本再生の公民館の精神を  
受け継ぎ発展させてゆくには私  
達職員の熱意が不可欠であるこ  
とは当時も今も変わりません。

# 実践記録シリーズ(24)

## 津南いなか大学

### 津南町公民館



つなないなか大学が始まったのは、町長の人脈からでした。

現小林町長が就任以来、津南町を訪れた各界の方々、或いは町長の公私含めた交流の中から友情を感じ、津南町に愛着を持たれた方々の間から平成四年に「津南で田舎する会」が生まれました。

会の目的は、まずもって酒を飲むこと、そして語り合うこと

で、毎年二回程度の集いを持つていました。

メンバーには、大学教授、医師、プロデューサー、俳優等国内外で活躍されている方が数多く、回を重ねる度に人が人を呼び、多才な人達の輪が広がってゆきました。

そんな中で、これだけ錚錚たるメンバーがいるのだから何か津南町のためになることをやれないか、という話を持ち上がり、「つなないなか大学」をやるうという事になったのでした。

人事も即決して、理事長には町長、学長には、淑徳大学教授 北野大(ビートたけしさんのお兄ちゃん)先生、副学長に新潟薬科大学助教授 及川紀久雄先生を選出、講師陣は「津南で田舎する会」のメンバー及びメンバーが紹介する者或はその他適任者とし、ついでに報酬については、学長以下講師に至るまでスズメの涙程度とするということにしたのです。

こうして平成八年につなないなか大学が発足したのですが、

発足時八年度の所管課は、首長部局の企画課が担当し、教育委員会は側面から協力するという体制でスタートしたことから、公民館としては存外気楽に考えていたのですが、理事長命令で九年度から公民館で所管することになって現在に至っています。

まちづくりの一環として、まちの全体にわたる分野について「優しく」「楽しく」「元氣よく」をモットーに、著名な講師の講義と交流の機会を作ろう、参加資格は、「参加してみたい」という心だけ、というコンセプトで、平成八年七月二十二日第一回目のつなないなか大学開校式を迎えることが出来たのですが、十日町市、松

之山町、長野県栄村等近隣の人達も含め、二百名余の参加者を見る事ができました。

学長の北野先生は、過去二回津南町の成人式で講演をしていただいでいて、開校記念講演も肩の張らない親しみやすい講義をしていただきました。テレビ等で受ける印象どおり、気さくで、真面目で、テレビで何とも好感の持てる先生です。

平成八年度三回、九年度三回実施し、それぞれ著名な講師ですが、申合せの「報酬はスズメの涙」を尊重して学長以下講師に至る迄、旅費・宿泊費・講演料一切で一人5、10万円しか支

払っていません。平成十年度も40万円の予算計上で、三、四回を計画しているところですが。

現在、いなか大学登録者三二二名ですが、一回二三〇〜一五〇名のコンスタントな参加者数で推移しています。

町長の人の輪から生まれた大学ですが、貴重な財産として人脈を活用させていただき、平成十年度も講演型で計画していますが、今後はもっと多様な方法を工夫し、より活性化したい「つなないなか大学」を造っていきたいと考えているところです。  
(前社会教育課長 大平健太郎)

つなないなか大学開校経過

年度	回数	内 容
平成8年度	第1回	開校式 理事長挨拶 開校記念講演 つなないなか大学学長 淑徳大学教授 北野大先生 ～マー兄ちゃんのやさしい環境講座～
	第2回	講演：国学院大学教授 小林達雄先生 ～縄文人の原風景～
	第3回	講演：新潟薬科大学助教授 及川紀久雄先生 ～つなんの水はうんめー水～
平成9年度	第1回	平成9年度開校式 学長講話 淑徳大学教授 北野大先生 講演：N・H・K出版宣伝部主管 柘植達雄先生 ～農村が都市を救う～
	第2回	講演：友好交流都市 狭山市長 町田潤一先生 ～街づくり、夢づくり～
	第3回	講演：茅ヶ崎市立病院副院長 医学博士 河野 清先生 ～痛みのクリニック～



# サークル交流

## 交流の輪を拡げたい

### 柏崎子育てサークル 交流会

柏崎市には、乳幼児をもつ母親が主体的に結成したサークルと、公民館や健康課の協力で地区内の母親やおばあちゃん達が集まっているサークルがあり、現在15団体が活動中です。

「柏崎子育てサークル交流会」は二年前、柏崎のFM放送の番組がきっかけで知り合った、当時は別々の団体に属していた7名で始めました。子育てサークルを探している人や柏崎に転入



して来て遊び相手を探している人達に向けて「子育てサークルガイド」を作成。月一回、親子が気軽に参加できる「おやこのつどい」を開催。また子育てサークル合同で、フリーマーケットを過去3回行い大盛況でした。

昨年度からは「つどい」を「ひろば」と改め生涯学習課の講座となり、内容も充実しました。講座に参加した母親達が修了後も集まって、公民館を利用し子供達を遊ばせながらお茶会を開くなど、交流の輪が広がっています。地域と関わりながら共に子育てを楽しみたいと思います。

(交流会事務局)

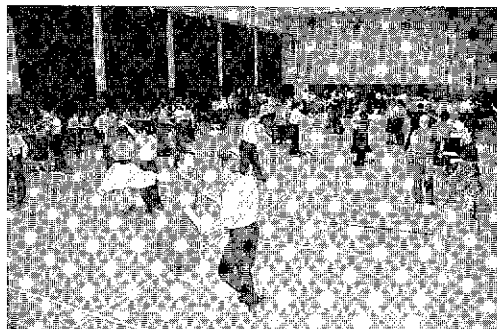
持田 恵子 記

## 社交ダンスで交流

### 小国町中央ダンス会

空調設備が整って、暑さ・寒さ知らずの快適な多目的ホールを会場にして通年毎週金曜日、午後八時から十時まで定例会として三十二名の会員が参加する社交ダンス愛好者の集いです。

毎週行うダンス会で、ダンス衣装・シューズを身に着け、軽快なリズムに身をまかせ、軽華やいだ一時を味わい、さわや



〈チャリティードダンスパーティー〉

かに気分転換ができます。ワルツ、タンゴ、ルンバ……、レパトリーは豊富にこなし、師範級の会員、老若男女・夫婦で参加と多様な会員構成をとっています。愛好者の集まりです。から、主体的な活動で盛り上がりがあります。

時にはプロ講師を招いて、会員の研修もおこないます。また、初心者の参加を広く募りダンス愛好者仲間との輪を広げています。他市町村との交流もチャリティーダンスパーティーや親睦ダンスパーティーを開催し、愛好者のなごやいだ雰囲気なかでダンスを楽しみ、人と人の交流を図っています。

(ダンス会代表)

山田 久 記

### 糸魚川市大野公民館

#### 主事 谷口純子 さん

短大卒業と同時に糸魚川中学校へ一年間講師として勤務、そのとき今のご主人に「見そめられたか」「見そめたか」当方知る由もない。(中略)前ぶれはともかく、大野公民館へ勤務されたのは、今から13年前の昭和60年であった。幸か不幸か市立公民館(十館)の管理運営について、



設置地域の住民主導型という形で再出発の一年前であつた。

## 素顔

## 拝見

た。その第一期生であり、持前の頭脳をフルに回転させ、地域住民に密着するなかで、常に笑顔絶えず公民館事業一つひとつのリーダーシップをとってきた行動力はすばらしい。当館は女性職員二名が常勤で、年間事業を彼女特有の細やかな神経を駆使し、力を合せた仕事振りには頭がさがる。単身赴任のご主人を気づかい乍ら毎日の仕事に気を配り、公民館では、なければならぬ人材として、地域の人々の信望と期待が大きい。

(大野公民館長 松沢健一記)

### 三川村教育委員会

#### 主任 清野哲弥 さん

社会体育係を担当して今年で6年目をむかえた。

夏場は軽くマリッジジェットを乗りこなし、子供たちといっしょにマリンスポーツをしたり、第2土曜日に開催している小学生対象の「きらめき塾」でレクリエーションスポーツや野外活動・体験活動を指導員とともに楽しみながら事業をすすめている。

明るい性格は、宴会の席でも当たり前のごとく宴会部長としてその場を盛り上げてくれる。



宴会にはなくてならぬ存在と

また、人前で話すことを苦にしない性格で、市町村長の前で講演をしたこともあるほどの強者である。

これからも、自分でも合っているという社会体育の仕事も白分も楽しみながら、参加者を楽しませていくことでしょう。

(三川村教育委員会)

安部 幸作 記

恵贈資料紹介

上越の生涯学習・社会教育

平成9年度刊行

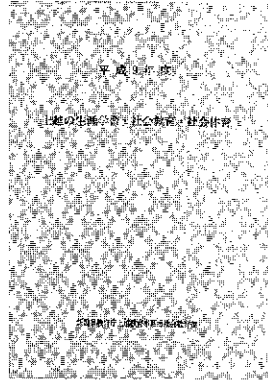
上越教育事務所社会教育課

今年も上越教育事務所  
所社教課から「上越の  
生涯学習・社会教育」が  
送られて参りました。

後半では、各市町村における  
社教行政の現状・課題及び特色  
ある事業・活動について具体的  
な実践例をおして紹介され  
ております。目を引いた例と  
しては、環境問題を取り上げ  
た「水と暮らし、環境を見つ  
めよう」、町の特性を生かした  
事業「ふるさとマナビイ」  
等々、紙面では紹介しきれな  
い程沢山ありました。



毎月内容豊かな実践集録を贈  
呈いただき、ありがとうございます。



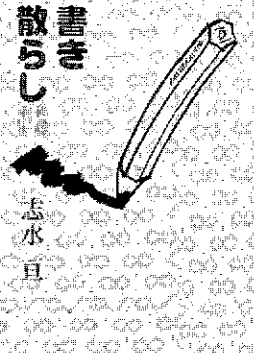
書き散らし帖

志水 巨

新潟日報事業社刊

まえがきなしの、第一部の書き出  
しリードで、新潟日報社夕刊晴雨計  
欄の執筆依頼から書き散らしが始  
まり、この著作物のまとめる引き金

図書紹介



となったと述べられ、ま  
たあとがきでも、自らの  
足跡をたどってみる思い  
で今迄書き散らししたもの  
をまとめてみました、と  
ありました。正に標題の  
由来でもあります。

著者は、新潟市青少年  
補導センター所長、同中  
央公民館長、同教育委員  
会文化行政課長、定年退  
職後は(財)同芸術文化  
振興財団事務局長という  
社教関係部署での豊富な  
体験を有し、その折々に  
執筆・掲載された随想・主  
張、また、座談会での発  
言録、社教委等での会議  
日誌を草毎に分かり易く  
まとめられたものです。  
とくに第三部では、当  
公民館連合会会長(昭  
61・4・63・3)として  
重責を担われた訳です  
が、その頃の月報に掲載  
された問題提起、県社教  
委での会議日誌等は、貴  
重な記録でもあります。  
B6判 197頁  
〒951-1812  
新潟市水道町一―五二四  
・ 〇三〇―〇九―三三  
七三七 (携帯)

資料紹介

つまりの社会教育 No.48

No.48の掲載内容  
は、第42回中魚・十  
日町市社会教育大  
会が目引いた。  
大会テーマは昨年  
度に引き続き「生涯  
学習ボランティアの  
育成と生かし方II」  
とし、川西町子育て  
グループ、十日町市  
配食サービス、中里  
村清津峡小学校稚子育成会か  
ら実践発表がなされ、4分科会  
での意見交換、最後に全体指導  
がなされた。

また、3面から6面にかけて  
は、川西町「学校と公民館の連  
携」―体験活動をおして―  
十日町市「やまて・中条交流事  
表紙解説  
『はまなすの丘』

町の海岸線は全長約15km  
その丘の一角には、はまなすの  
丘がある。群生するはまな  
すの開花は5月末から、こ  
こからの眺めは素晴らし  
い。(中条町中央公民館)

あとがき

◇うっかりミスでは済まされな  
い、気を付けねば、と絶えず心  
を引き締めて対応していた積り  
でしたが、4月号の特集欄に誤  
植二カ所(義務↓業務、選任↓  
専任)ありました。しかも、専  
門用語に近い漢字でしたので、  
余計気になりました。  
◇薫風5月、いよいよ本格的な  
事業展開の頃となりました。事  
務局でも、理事・評議員会、県  
大会、関プロ大会等の対応に  
入っております。

発行所 新潟県公民館連合会  
〒951-8053  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025)224-6073】  
発行人 会長 今井昭友  
編集人 事務局長 鈴木友夫  
【定価1部150円 年刊1,800円】